

バークレープロフェッショナルズ プレゼンテーション

- ポイント① More impactful インパクトあるものにする 聴衆の心を掴む、効果的にメッセージを伝える
- ポイント② More focused 伝えたいことに注目させる 主役は聴衆であることを念頭に、的を射た内容にする
- ポイント③ More memorable メッセージを覚えやすくする より記憶に残るように工夫する

プログラム概要例(7H)

ブレインストーミング

- ・魅力あるプレゼンとは?
- ・日本人の一般的なプレゼンの課題とは?

午前

プレゼン① 基礎

トピックを選び先ずは自由にやってみる。 ---> 受講者数によっては実施しないことがあります ビデオ撮影により、言語的・身体的観点から自身の弱点を発見、修正。

プレゼン作りの4本の柱について

プレゼンの意義 / 論理構成 / シンプルなスライド / リハーサル

昼休憩

プレゼン② 実務応用

事前課題として準備した業務に関わるプレゼンを行う。 午前中に学んだことを盛り込みながら発表し、トレーナーからのフィードバックを受ける。

プレゼン③ 実務応用

午後

プレゼン②でのフィードバックを生かし、再度発表。原稿が明確であること、メッセージが記憶に残ること、 聴衆を主役にすること、聴衆にとってのメリットを効果的に伝えること、行動を促すことなどを、意識する。

プレゼン4 総合

スライドを改善した上で最終プレゼンに臨み、質疑応答にも対応する。 また、今後さらにブラッシュアップしていくためのステップを確認する。